

甲府市P連だより

甲府市小中学校PTA連合会情報活動部

市P連事務局
〒400-0043 甲府市国母4丁目1-12
TEL. (055) 222-3866
FAX. (055) 222-3889
https://ptakofu.org
E-mail: info@ptakofu.org
印刷: 総合印刷 王文社

ごあいさつ

甲府市小中学校PTA連合会

会長 相山 恭子 (北中)



今年度のスローガンは「ともに学び、ともに育む」できる人が、できる時に、できることを、新しい繋がりを築きましょう」です。

PTAは社会教育関係団体として位置づけられています。教育基本法においても学校・家庭及び地域住民等の相互の連携協力が明記されており、昨今の社会情勢を踏まえるとその必要性は高まっていると感じています。一方で役員の負担が大きいことや、組織のアップデートが必要な現状によりPTA離れが進んでいる側面もあり、様々な場で議論が行われていると思います。

どのような状況においても「こどもたち」のためであると同時に、PTA会員が楽しんで参加できること、そこで得た学びや気づきを学校や家庭、地域へと波及させていけるような市P連を目指して、関係機関やPTA役員の皆様と手を携え活動していきたいと思います。引き続きご支援、ご協力の程お願い申し上げます。

令和7年度役員紹介は市P連ホームページお知らせ欄またはこちらからご覧ください。
<https://ptakofu.org/information/archives/10>



ともに学び、ともに育む

～できる人が、できる時に、できることを、新しい繋がりを築きましょう～

教育委員会と連携を図り

活動することを確認 樋口雄一甲府市長を表敬訪問

日時: 令和7年7月10日(木) 16:30

場所: 甲府市役所 市長室

市P連役員10名が樋口甲府市長、松田教育長、飯田教育部長を表敬訪問いたしました。

甲府空襲から80年という節目を迎え、過日開催された「もうひとつの七夕」イベントや山梨県立図書館で開催された「甲府空襲を考える集い」、甲府市役所1階展示コーナーでの市民から集めた平和資料等を展示する企画等の様子を情報共有し、今後こどもたちと一緒に私達保護者(大人)も学べるような機会があると良いのではないのかという意見が出されました。

また各単位PTAにおいても平和学習等の様々な取り組みが行われているが、保護者も参加できる仕組み作りがあっても良いのではないのかという意見も出されました。

これからも甲府市、甲府市教育委員会と円滑な連携を図りながら、活動していくことを確認致しました。



Q1 校庭にいるときに地震が来たら、どうする?

- A) 校舎の近くに行き様子を見る
- B) 校庭の中央に避難して、頭を両腕で守り低い姿勢で待つ
- C) 走って校舎の中に戻る



Q2 トイレにいるときに地震が来たら、どうする?

- A) すぐに個室から出て廊下へ逃げる
- B) 窓から離れ、ドアを開けて外に出られるようにし、揺れが収まるまで安全な場所で待つ
- C) トイレの中でジャンプして揺れを避ける



Q3 避難地とは何をさしますか?

- A) 友達と自由に遊べる場所
- B) 自宅に戻れなくなった時に生活する場所
- C) 地震の時に一時的に身を守るために集まる場所

防災・防犯クイズに挑戦!

防災・防犯についての記事を読んで親子で答えてね。



上記QRから質問に答えて
科学館の年間パスポート
を当てよう!!

クイズの正解者の中から抽選で30名にプレゼントいたします。
市P連ホームページ お知らせ欄からご応募ください。

Q4 知らない人に「おうちどこ?」と聞かれたら、どうする?

- A) 正直に答える
- B) 「いかのおすし」を思い出して、すぐに逃げて近くの大人に知らせる
- C) 一緒に行きあける



Q5 水害を想定して学校で行われる訓練は?

- A) 水平避難訓練
- B) 垂直避難訓練
- C) 放送を使わない訓練

Q6 教室で地震が起きたとき、まずすべきことは?

- A) 窓を開けて逃げる準備をする
- B) 机の下に入り、頭を守る
- C) 友だちと一緒に廊下へ出る

あぶない！ にげろ！ ……どうする？ どこへ？

「えっ、今日！今からやるの！？」……突然訓練！！

災害はいつ起こるかわからないから、最近の避難訓練は、子どもたちに予告しないことがあります。突然の訓練に驚く子もいますが、それが大切な学びの一步。いざという時に、自分で判断して避難行動できる力を養うための訓練なんです。

「えっ、そんなことまで！？」……リアルな訓練！！

学校では火災・地震・浸水(洪水)・不審者防犯などの訓練がそれぞれ実施されています。浸水が心配な地域の学校では、最上階に避難する「垂直避難訓練」。停電を想定して「放送を使わない訓練」もあります。こうした訓練は、子どもたちの命を守るための大切な取り組み。学校ごとに工夫を凝らしながら、日々「もしも」に備えています。

避難地と避難所の違いって知ってる？

避難地は、地震のときに一時的に身を守るために集まる場所。学校のグラウンドや公園などがこれにあたります。一方、避難所は、自宅に戻れなくなったときに生活する場所で、体育館や公共施設などが指定されています。

さらに、水害と地震では避難先が異なることも。だから、甲府市防災アプリで事前に確認しておくのが安心です。

家族で「どこに集まる？」「どうやって連絡する？」を話し合っておくことも忘れずに！

右のQRコードから是非ご確認ください



甲府市防災アプリ

保護者ができること

学校での訓練は大切ですが、子どもたちの安全確保には家庭の準備も欠かせません。まずは、家族で「災害時にどこに集まる？」「どうやって連絡を取る？」を話し合っておきましょう。

備蓄品の確認もポイントです。いざという時に必要なものをそろえておくで安心です。



甲府市ハザードマップ



わが家の防災マニュアル

また、学校からの緊急メールは必ずチェックしてください。

引き渡し訓練への参加や、お子さんのアレルギー・持病などの情報を学校に正しく伝えることも重要です。

地域の防災訓練に参加するのもおすすめ。子どもたちが地域の一員として役割を持つことで、防災意識がぐっと高まります。

有事の準備は無事の時に！今できることを、家族で一緒に始めてみませんか？



甲府地方気象台でも防災について学べるよ！！
学んだらみんなに教えてあげよう。



甲府地方気象台イベント

お知らせ、ちゃんと届いてますか？

～「学校安心メール(あんしんメール)」のご紹介～

今、「学校安心メール(あんしんメール)」という新しい連絡ツールが使われていて、メールだけでなくアプリでも通知が届くので、緊急のお知らせも見逃しにくくなっています。

「まもるメール」はメール受信のみでしたが、「学校安心メール(あんしんメール)」なら災害や不審者情報など、スマホのアプリでパッと確認できるので、すぐに気づけて安心です。

まだ登録していない方は、ぜひこの機会にチェックしてみてくださいね。



不審者！危険個所！どこに知らせるの？

「通学路にちょっと危ない場所があるかも…」「近所で不審な人を見かけた…」そんなときには

◆不審者を見かけたり、発見したら、まず警察へ！

警察への直接連絡により、パトロールなどの迅速な対応が可能になり、子どもたちの安全確保につながります。

◆通学路等に危険な個所を見つけたら、学校へ！

学校から警察や行政などの関係機関へ情報が共有され、必要に応じて現地確認や改善が行われます。

小さな気づきが、大きな安全につながります

「ちょっと気になるな…」という声が、子どもたちの安全を守る大きな力になります。

皆さんの声を、地域の安全づくりに生かしましょう。

「ほっとルーム」って？ 教室じゃなくてもいいんだよ

「学校には行きたい。でも教室には入れない…」そんな子どもたちの気持ちに寄り添う場所が、甲府市の中学校内にある「ほっとルーム」です。文部科学省が不登校支援の一環として設置を促している「校内教育支援センター」で、甲府市では現在8つ(令和7年度現在)の中学校内に設置されています。

どんなところ？

ほっとルームには専属の先生がいて、生徒は自分のペースで学習を進められます。

わからないところは先生に聞いたり、Chromebookで自分のクラスの授業にリモート参加することもできます。

時には、他の生徒や先生とレクリエーションを楽しむことも。

サポートルームとは違うの？

サポートルームは、発達や情緒などに課題のある子どもたちへの個別指導を行う「通級指導教室」。
ほっとルームは、不登校傾向の生徒の「社会的自立」を支援する場所です。目的が違うんですね。

保護者の相談先は？

「子どもの様子がちょっと変かも…」
と思ったら、まずは学校の先生に相談を。



甲府市の相談窓口
「すてっぷ」リーフレット

登校したら出席になるの？

校内にあるので、登校すれば「出席」。登校時の服装は制服か体育着。登校時間については柔軟に対応。

ちょっとした配慮も

玄関を通らずにほっとルームへ行けるようになっていたり、教室の入口に衝立を設置してプライバシーに配慮しているところもあります。

また、在籍する学級や学年の様子が分かるように掲示物なども掲示してあります。

□利用者の声から見える「ほっとルーム」の価値

子どもは、無理なく登校できることで不登校にならずに済み、少しずつ学校生活の中で、友達との関係や学習への意欲も回復していきます。

保護者からは「制服を着て学校へ行こうとする気持ちが生まれた」「学校の様子を話してくれるようになった」といった声が寄せられています。

ほっとルームで、子どもたちは「学校に行ける」という経験を積み重ね、自信を取り戻していきます。

この場所は、単なる居場所ではなく、**子どもたちが社会的自立に向かって一步を踏み出すための支援の場**です。安心できる環境の中で、自分のペースで学び、交流し、少しずつ「できること」を増やしていく。

ほっとルームはそうした成長のきっかけをつくる、大切な場所なのです。

これからも、子どもたちの気持ちに寄り添う取り組みが広がっていくといいですね。



育み委員会

委員長 木川 絵美(甲運小)

第1回委員会

令和7年6月25日(水)

第1回委員会では、今年度役員の紹介、年間活動計画について等今年度活動内容や、進め方について委員皆さんのご意見を伺いました。

第2回委員会は10月10日(金)午後7時より遊亀公民館にて委員会を開催し、例年育み委員会で甲府市教育委員会に提出している教育環境等の要望内容について、各単位PTAのご意見、ご要望等を精査し、要望書提出に向け準備をしたいと思います。

また、来年2月23日(月)に企画調査委員会と合同でリッチダイヤモンド総合市民会館にて親子で参加していただく、スポーツフェスティバルを開催予定です。

**企画調査委員会**

委員長 千田 知宏(湯田小)

第1回委員会

令和7年7月4日(金)

第1回委員会では、委員となる市内38校の学校長・PTA会長でアンケート調査のテーマについて各ブロックで意見交換を行い、PTA役員、PTA活動内容、PTA会費等、各単位PTAの現状について学校間で共有できる項目を設け、今年度アンケート調査を行う事になりました。

アンケートについては、各単位PTAにご協力いただき、9月にオンラインで行いました。集計結果は第2回委員会で報告させていただくほか、全体研修会などでも積極的に発信し、PTA運営の参考になればと思います。

また、来年2月23日(月)に育み委員会と合同でリッチダイヤモンド総合市民会館にて親子で参加していただく、スポーツフェスティバルを開催予定です。

**情報活動部**

部長 仲沢 桂(西中)

第1回部会

令和7年7月5日(土)

第1回部会では今年度の活動計画について、特に10月発行予定の市P連だより第96号の掲載記事について部員の方々に要望等について情報を収集しました。特集記事は「防災について」と「ほっとルームについて」の2本柱に絞り込み、記事内容を決めることができました。

多くの方に市P連だよりを見ていただけるよう紙面を工夫したり、市P連に関する情報や活動内容等を広く周知していきたいと思っています。

**教育研修部**

部長 藤田 宜大(山城小)

第1回部会 学習会

令和7年7月5日(土)

第1回学習会では、元山梨県立大学教授 坂本玲子先生を講師にお招きし、「脳と心の育て方・自立を育む子育てとは」についてお話を伺いました。

学習会では、子どもの心の発達について、子どもの心と付き合い方、勇気づけのポイント等子どもとの関わり方を教えていただきました。参加された方々からは「ずっと聞いていたくなる様な先生の話でした。」「子どもに対して、言いすぎてしまい後悔する事があります。先生のお話を聞いて、考え方が少し変われる気がしました。とても学びになりました。」等々感想が寄せられました。

第2回学習会は9月28日(日)午後2時から、南公民館で「性教育」についての学習会を行いました。

**今後の予定****令和7年度
全体研修会**

開催日：令和7年12月14日回

午後1時30分より

会 場：リッチダイヤモンド総合市民会館
芸術ホール**スポーツフェスティバル**

(育み委員会、企画調査委員会合同)

開催日：令和8年2月23日(月)

午後1時30分より

会 場：リッチダイヤモンド総合市民会館
山の都アリーナ**編集
後記**

今年度初めてとなります市P連だより第96号を発行する事ができました。

色々な面で配慮が必要な昨今の流れですが、子どもたちの育成のために、今後も皆様の興味をひろい挙げた記事の掲載をしていきたいと思っています。

情報活動部 部員一同